

【表紙】

| | |
|------------|---|
| 【提出書類】 | 四半期報告書の訂正報告書 |
| 【根拠条文】 | 金融商品取引法第24条の4の7第4項 |
| 【提出先】 | 関東財務局長 |
| 【提出日】 | 平成27年6月23日 |
| 【四半期会計期間】 | 第28期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日） |
| 【会社名】 | 株式会社ゴルフ・ドゥ |
| 【英訳名】 | GOLF・DO CO., LTD. |
| 【代表者の役職氏名】 | 代表取締役社長 伊東 龍也 |
| 【本店の所在の場所】 | 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番1号 |
| 【電話番号】 | (048)851-3111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 経営管理本部長 大井 康生 |
| 【最寄りの連絡場所】 | 埼玉県さいたま市中央区上落合二丁目3番1号 |
| 【電話番号】 | (048)851-3111(代表) |
| 【事務連絡者氏名】 | 取締役 経営管理本部長 大井 康生 |
| 【縦覧に供する場所】 | 株式会社名古屋証券取引所(セントレックス) (愛知県名古屋市中区栄三丁目8番20号) |

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成26年11月13日に提出いたしました第28期第2四半期（自平成26年7月1日至平成26年9月30日）四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 業績の状況

第4 経理の状況

2. 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

| 回次 | 第27期 第2四半期連結 累計期間 | 第28期 第2四半期連結 累計期間 | 第27期 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,238,704 | 2,187,150 | 4,312,733 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 21,936 | 18,469 | 69,020 |
| 四半期純利益又は当期純損失 () (千円) | 9,080 | <u>8,774</u> | 115,487 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 21,587 | <u>16,465</u> | 96,344 |
| 純資産額 (千円) | 548,088 | 476,641 | 430,392 |
| 総資産額 (千円) | 2,167,096 | 2,443,766 | 2,398,419 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額 () (円) | 7.32 | <u>7.07</u> | 93.10 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 25.3 | 19.1 | 17.9 |
| 営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 4,565 | 182,684 | 160,810 |
| 投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 20,414 | 53,722 | 47,369 |
| 財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 90,355 | 21,624 | 366,012 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 322,555 | 524,262 | 416,617 |

| 回次 | 第27期 第2四半期連結 会計期間 | 第28期 第2四半期連結 会計期間 |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円) | 5.18 | 11.51 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は平成25年10月1日付けで株式1株につき、100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は当期純損失金額()を算定しております。

4. 第27期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第27期潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
6. 第28期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

| 回次 | 第27期 第2四半期連結 累計期間 | 第28期 第2四半期連結 累計期間 | 第27期 |
|---|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 4月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成26年 4月1日 至平成26年 9月30日 | 自平成25年 4月1日 至平成26年 3月31日 |
| 売上高 (千円) | 2,238,704 | 2,187,150 | 4,312,733 |
| 経常利益又は経常損失 () (千円) | 21,936 | 18,469 | 69,020 |
| 四半期純利益又は当期純損失 () (千円) | 9,080 | 28,987 | 115,487 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 21,587 | 36,678 | 96,344 |
| 純資産額 (千円) | 548,088 | 476,641 | 430,392 |
| 総資産額 (千円) | 2,167,096 | 2,443,766 | 2,398,419 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり当期純損失金額 () (円) | 7.32 | 23.37 | 93.10 |
| 潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円) | - | - | - |
| 自己資本比率 (%) | 25.3 | 19.1 | 17.9 |
| 営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 4,565 | 182,684 | 160,810 |
| 投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 20,414 | 53,722 | 47,369 |
| 財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円) | 90,355 | 21,624 | 366,012 |
| 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円) | 322,555 | 524,262 | 416,617 |

| 回次 | 第27期 第2四半期連結 会計期間 | 第28期 第2四半期連結 会計期間 |
|--|-----------------------------------|-----------------------------------|
| 会計期間 | 自平成25年 7月1日 至平成25年 9月30日 | 自平成26年 7月1日 至平成26年 9月30日 |
| 1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 () (円) | 5.18 | 11.51 |

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 当社は平成25年10月1日付けで株式1株につき、100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額又は当期純損失金額 () を算定しております。

4. 第27期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第27期潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失金額であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
6. 第28期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2【事業の状況】

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式市場が堅調に推移したものの、消費税増税や円安の影響懸念もあり、政府の成長戦略への期待が盛り上がり、欧州でも景気の停滞を背景にデフレ懸念が強まりました。加えてウクライナや中東、香港情勢等が地政学リスクとして意識され、全体としては不安定な状況が続きました。

また、ゴルフ業界におきましても、消費税増税による生活防衛意識の高まりから、消費に対する節約志向が一段と強くなっており、売上の回復はままならない状況です。しかしながら、第2四半期後半になり、9月以降に発売される新製品に合わせてマークダウン品の動きや予約が先行し、前年並みの売上を獲得できるまでには回復してまいりました。なお、ゴルフ場／練習場の利用者数は、前年同月比7月98.6％／97.5％、8月100.2％／103.5％（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」）と堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましても直営事業にて消費税増税に対して販促活動などさまざまな施策を計画、実行することに引き続き努めてまいりましたが、購入客数の減少など収益を圧迫する状況が続きました。しかしながら8月中旬以降、秋からの新製品を見越したマークダウンや新製品の発表に伴い、中古クラブの売上が回復してまいりました。営業販売事業におきましては、更なる円安局面では直輸入商材への発注は減少し、国内特価商材の受注獲得に努めてまいりました。また、フランチャイズ事業では、平成26年7月に「名東よぎ台店」が閉店し、当第2四半期連結累計期間におきまして、1店舗出店、2店舗閉店となりました。従いまして、平成26年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計74店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が21億87百万円（前第2四半期連結累計期間22億38百万円）、営業利益が23百万円（同営業利益21百万円）、四半期純利益は8百万円（同四半期純利益9百万円）となりました。

(訂正後)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、株式市場が堅調に推移したものの、消費税増税や円安の影響懸念もあり、政府の成長戦略への期待が盛り上がり、欧州でも景気の停滞を背景にデフレ懸念が強まりました。加えてウクライナや中東、香港情勢等が地政学リスクとして意識され、全体としては不安定な状況が続きました。

また、ゴルフ業界におきましても、消費税増税による生活防衛意識の高まりから、消費に対する節約志向が一段と強くなっており、売上の回復はままならない状況です。しかしながら、第2四半期後半になり、9月以降に発売される新製品に合わせてマークダウン品の動きや予約が先行し、前年並みの売上を獲得できるまでには回復してまいりました。なお、ゴルフ場／練習場の利用者数は、前年同月比7月98.6％／97.5％、8月100.2％／103.5％（経済産業省「特定サービス産業動態統計調査」）と堅調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループにおきましても直営事業にて消費税増税に対して販促活動などさまざまな施策を計画、実行することに引き続き努めてまいりましたが、購入客数の減少など収益を圧迫する状況が続きました。しかしながら8月中旬以降、秋からの新製品を見越したマークダウンや新製品の発表に伴い、中古クラブの売上が回復してまいりました。営業販売事業におきましては、更なる円安局面では直輸入商材への発注は減少し、国内特価商材の受注獲得に努めてまいりました。また、フランチャイズ事業では、平成26年7月に「名東よぎ台店」が閉店し、当第2四半期連結累計期間におきまして、1店舗出店、2店舗閉店となりました。従いまして、平成26年9月末日現在の営業店舗数は全国で合計74店舗となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高が21億87百万円（前第2四半期連結累計期間22億38百万円）、営業利益が23百万円（同営業利益21百万円）、四半期純利益は28百万円（同四半期純利益9百万円）となりました。

第4【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正前)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成26年7月1日から平成26年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日から平成26年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

また、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受け、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 2,238,704 | 2,187,150 |
| 売上原価 | 1,476,655 | 1,386,799 |
| 売上総利益 | 762,048 | 800,350 |
| 販売費及び一般管理費 | 740,054 | 776,748 |
| 営業利益 | 21,994 | 23,602 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,628 | 2,578 |
| 受取手数料 | 1,579 | 1,650 |
| 為替差益 | 3,009 | - |
| その他 | 192 | 780 |
| 営業外収益合計 | 6,410 | 5,010 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,313 | 7,340 |
| 為替差損 | - | 2,489 |
| その他 | 154 | 313 |
| 営業外費用合計 | 6,468 | 10,143 |
| 経常利益 | 21,936 | 18,469 |
| 特別利益 | | |
| 子会社株式売却益 | - | 3,600 |
| 特別利益合計 | - | 3,600 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 21,936 | 22,069 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,905 | 8,730 |
| 法人税等調整額 | 1,950 | 4,564 |
| 法人税等合計 | 12,856 | 13,294 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,080 | 8,774 |
| 四半期純利益 | 9,080 | 8,774 |

(訂正後)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 2,238,704 | 2,187,150 |
| 売上原価 | 1,476,655 | 1,386,799 |
| 売上総利益 | 762,048 | 800,350 |
| 販売費及び一般管理費 | 740,054 | 776,748 |
| 営業利益 | 21,994 | 23,602 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,628 | 2,578 |
| 受取手数料 | 1,579 | 1,650 |
| 為替差益 | 3,009 | - |
| その他 | 192 | 780 |
| 営業外収益合計 | 6,410 | 5,010 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,313 | 7,340 |
| 為替差損 | - | 2,489 |
| その他 | 154 | 313 |
| 営業外費用合計 | 6,468 | 10,143 |
| 経常利益 | 21,936 | 18,469 |
| 特別利益 | | |
| 子会社株式売却益 | - | 23,812 |
| 特別利益合計 | - | 23,812 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 21,936 | 42,282 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 10,905 | 8,730 |
| 法人税等調整額 | 1,950 | 4,564 |
| 法人税等合計 | 12,856 | 13,294 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,080 | 28,987 |
| 四半期純利益 | 9,080 | 28,987 |

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】
(訂正前)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,080 | 8,774 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,385 | 51 |
| 為替換算調整勘定 | 7,121 | 7,742 |
| その他の包括利益合計 | 12,507 | 7,690 |
| 四半期包括利益 | 21,587 | 16,465 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 21,587 | 16,465 |

(訂正後)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 9,080 | 28,987 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 5,385 | 51 |
| 為替換算調整勘定 | 7,121 | 7,742 |
| その他の包括利益合計 | 12,507 | 7,690 |
| 四半期包括利益 | 21,587 | 36,678 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 21,587 | 36,678 |

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正前)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 21,936 | 22,069 |
| 減価償却費 | 22,751 | 24,927 |
| 株式報酬費用 | - | 9,570 |
| 長期前払費用償却額 | 942 | 1,056 |
| のれん償却額 | 8,738 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 207 | 6 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 8,979 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 1,676 | 1,401 |
| ポイント引当金の増減額(は減少) | 3,260 | 3,259 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | - | 4,173 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,628 | 2,578 |
| 子会社株式売却損益(は益) | - | 3,600 |
| 支払利息 | 6,924 | 7,340 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 24,917 | 20,153 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 51,166 | 59,515 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 96,725 | 11,340 |
| 未払金の増減額(は減少) | 3,761 | 7,643 |
| 未払費用の増減額(は減少) | 465 | 336 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 15,044 | 15,431 |
| その他 | 5,213 | 13,532 |
| 小計 | 18,928 | 194,894 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,610 | 2,544 |
| 利息の支払額 | 7,327 | 7,284 |
| 法人税等の支払額 | 17,777 | 7,469 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,565 | 182,684 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 16,512 | 21,794 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 8,312 | 11,476 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 4,891 | 348 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 4,087 | 4,082 |
| 貸付金の回収による収入 | 107 | 7 |
| 建設協力金の回収による収入 | 5,106 | 5,210 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | - | 29,405 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 20,414 | 53,722 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 67,426 | 21,514 |
| 長期借入れによる収入 | 160,000 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 137,071 | 143,139 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 90,355 | 21,624 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,361 | 306 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 68,737 | 107,644 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 253,818 | 416,617 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 322,555 | 524,262 |

(訂正後)

(単位：千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|--------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 21,936 | 42,282 |
| 減価償却費 | 22,751 | 24,927 |
| 株式報酬費用 | - | 9,570 |
| 長期前払費用償却額 | 942 | 1,056 |
| のれん償却額 | 8,738 | - |
| 貸倒引当金の増減額(は減少) | 207 | 6 |
| 退職給付引当金の増減額(は減少) | 8,979 | - |
| 賞与引当金の増減額(は減少) | 1,676 | 1,401 |
| ポイント引当金の増減額(は減少) | 3,260 | 3,259 |
| 退職給付に係る負債の増減額(は減少) | - | 4,173 |
| 受取利息及び受取配当金 | 1,628 | 2,578 |
| 子会社株式売却損益(は益) | - | 23,812 |
| 支払利息 | 6,924 | 7,340 |
| 売上債権の増減額(は増加) | 24,917 | 20,153 |
| たな卸資産の増減額(は増加) | 51,166 | 59,515 |
| 仕入債務の増減額(は減少) | 96,725 | 11,340 |
| 未払金の増減額(は減少) | 3,761 | 7,643 |
| 未払費用の増減額(は減少) | 465 | 336 |
| 未払消費税等の増減額(は減少) | 15,044 | 15,431 |
| その他 | 5,213 | 13,532 |
| 小計 | 18,928 | 194,894 |
| 利息及び配当金の受取額 | 1,610 | 2,544 |
| 利息の支払額 | 7,327 | 7,284 |
| 法人税等の支払額 | 17,777 | 7,469 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 4,565 | 182,684 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | 16,512 | 21,794 |
| 無形固定資産の取得による支出 | 8,312 | 11,476 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | 4,891 | 348 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 4,087 | 4,082 |
| 貸付金の回収による収入 | 107 | 7 |
| 建設協力金の回収による収入 | 5,106 | 5,210 |
| 連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出 | - | 29,405 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 20,414 | 53,722 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(は減少) | 67,426 | 21,514 |
| 長期借入れによる収入 | 160,000 | 100,000 |
| 長期借入金の返済による支出 | 137,071 | 143,139 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 90,355 | 21,624 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,361 | 306 |
| 現金及び現金同等物の増減額(は減少) | 68,737 | 107,644 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 253,818 | 416,617 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 322,555 | 524,262 |

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 7円32銭 | 7円07銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 9,080 | 8,774 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 9,080 | 8,774 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,240,400 | 1,240,400 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | 平成26年5月26日取締役会決議の新株予約権 普通株式 30,000株 |

- (注) 1. 当社は平成25年10月1日付けで株式1株につき、100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日) |
|---|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 7円32銭 | 23円37銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 四半期純利益金額(千円) | 9,080 | 28,987 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | - | - |
| 普通株式に係る四半期純利益金額(千円) | 9,080 | 28,987 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,240,400 | 1,240,400 |
| 希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要 | - | 平成26年5月26日取締役会決議の新株予約権 普通株式 30,000株 |

- (注) 1. 当社は平成25年10月1日付けで株式1株につき、100株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
2. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。また、当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年 6月17日

株式会社ゴルフ・ドゥ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員 公認会計士 松本保範印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 瀬戸卓印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ゴルフ・ドゥの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ゴルフ・ドゥ及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成26年11月7日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。